

下水道の維持管理

みずかみ みか

水上 美華

民主市民連合



問 国の新たな下水道の維持管理基準が策定されると、調査や維持管理のコスト増が懸念され、技術革新への対応や技術者の確保と育成も課題となります。そのため、財政的・技術的支援の拡充を国に要望し、連携を密にして持続可能な下水道事業に必要な資源を確保することが必要だと考えます。今後どのように維持管理を進めますか。

市の答 新基準の検討状況を注視するとともに、他自治体と連携して、国に必要な支援を積極的に働きかけていきます。加えて、担い手の確保や育成を支援し、体制を維持していくことで、適切な維持管理に努めます。

ラーケーションの導入

やまぐち かずさ

山口 かずさ



問 平日に子どもが保護者と学校外の体験を通じて学びを深めるラーケーション^{*}など、休み方改革の取り組みが他自治体で進んでいますが、本市はどのように考えますか。

市の答 子どもの健やかな成長に、保護者との対話や体験を通じて学ぶ機会があることは大切です。他自治体の成果や課題の情報収集などを行い、必要性を検討します。

※子どもの学びLEARNINGと保護者の休暇VACATIONを組み合わせた造語

日本ハムファイターズ2軍
本拠地の誘致に向けた
メッセージの発信

わきもと しげゆき

脇元 繁之

大地さっぽろ



問 道内最大都市の市長として、2軍本拠地の誘致に向けた市民への力強いメッセージを発信し、市民と共に機運を盛り上げていくべきと考えますが、いかがですか。

市の答 まずは、諸条件や整備スケジュールなどに照らして活用可能な土地があるかどうかが重要であり、適した土地があれば、具体的な提案を検討したいと考えています。

委員会の主な活動状況（9/11～10/10）

総務委員会

雪対策審議会の開催状況について質疑を行いました。（10/3）

文教委員会

市立学校における特別な教育的支援の一層の充実およびハラスメント対応の強化について質疑を行いました。（9/11）

厚生委員会

（仮称）健康アプリのポイント案について質疑を行いました。（10/3）

建設委員会

下水道サービスの受益者負担の在り方に係る市営企業調査審議会の答申内容について質疑を行いました。（10/3）

市民負担増に係る計画の見直し、
障害福祉サービス報酬改定による
障がい福祉事業所への影響と対策

たなか けいすけ

田中 啓介

日本共産党



問 下水道料金の値上げは、今でさえ苦しい暮らしをさらに厳しくし、購買力を奪うことになります。敬老パスの見直しなども含めた市民への負担増をやめる決断を市長に求めますが、いかがですか。

市の答 持続可能な施設管理や行政サービスの安定的な提供のためには、社会状況などの変化に応じた適切な見直しが必要と考えており、今後も丁寧な説明に努めます。

問 2024年度の報酬改定では、基本報酬の見直しが行われ多くの事業所に影響を与えています。その影響の実態を把握し、国に報酬の在り方を改めるように要望するべきです。また、事業縮小や閉所の懸念がある事業所へ財政的支援などの対策が必要と考えますが、いかがですか。

市の答 実態を踏まえた基本報酬となった一方、支援内容などに応じた加算が充実し、事業所の支援の質の向上に資する改定だと認識しています。市内では減収となった事業所も多いですが、加算を含めると生活介護事業所の約6割が増収になっており、今後も実態把握に努めます。

町内会の防犯カメラの設置

ふじた としひと

藤田 稔人

自由民主党



問 これまで寄付金を原資にして町内会に防犯カメラ設置の補助をしてきましたが、寄付金は本年度でほぼ底をつく見込みです。寄付金が底をついても補助制度を継続するのか、本市が自ら防犯カメラを設置するのか方向性を明確にすべきです。防犯カメラの効果をどのように認識し、今後どのように設置を進めていきますか。

市の答 防犯カメラは、犯罪の未然防止や早期解決、市民の不安感の軽減に資する極めて有効なものです。防犯カメラの設置補助は、多くの地域から強い要望が寄せられており、寄付金が底をついた後も町内会への設置補助を行っていきます。

大都市税財政制度・DX推進調査特別委員会
大都市財政の実態に即応する財源の拡充についての要望（通称～「青本」）について説明を受けました。（9/18）
総合交通政策調査特別委員会
新たな公共交通システムについて質疑を行いました。（10/6）

市雪対策審議会の進め方、
コンサートホール Kitara の改修工事

うるしはら なおこ

直子

民主市民連合



問 今後の雪対策を議論する市雪対策審議会については、市民に不安や誤解を与えないように正確な情報を伝えることが重要です。持続可能な雪対策を市民と共に考えるため、目的や検討経過をどのように伝えていきますか。

市の答 広報さっぽろやSNSなどを活用するとともに、報道機関への丁寧な説明により市民に正確な情報を伝えるほか、検討状況を地域に直接報告して誤解などが生じないよう努めます。また、市民の声を聞き、その声を反映して議論を進めます。

問 改修によるKitaraの長期休館は、PMF^{*}や多くの音楽団体の活動に大きな影響が及ぶため、改修中の対応は極めて重要です。工事の検討状況と、長期休館中の利用団体や市民への対応をどのように考えているのか、伺います。

市の答 年内には、休館期間がおおむね決まる予定です。影響を最小限にするため、工期の短縮に努め、hitaruや教育文化会館などを代替利用できるように調整します。

※国際教育音楽祭パシフィック・ミュージック・フェスティバル札幌

信頼される学校づくり、
子どもの朝の居場所づくり

くまがい せいいち

熊谷 誠一

公明党



問 一部の教師による盗撮などの犯罪報道が続いており、学校は安全で教員は信頼できるという前提が揺らぎ始めているという危機感を持っています。信頼される学校づくりに向けてどのように取り組んでいきますか。

市教委の答 私用端末の持ち込み制限を設ける対応などをしており、今後も必要な対策を講じていきます。また、新たに「人間尊重の教育」を市教員育成指標の重点項目と位置付け、研修の充実を図るなど全力で取り組みます。

※市教委=市教育委員会

問 小学校は保育園よりも登校時間が遅く、学校の開門まで玄関で待つ子どもを心配する声があります。仕事などで朝早く家を出る保護者が安心できるように、子どもの朝の居場所づくりを進めるべきと考えますが、いかがですか。

市の答 現在、地域のボランティアが登校前の子どもを預かる事業を行っています。この事業のさらなる活用を含め、今後、子どもの朝の居場所の実態や需要の調査を行い、子どもがより安全に安心して過ごせるように検討していきます。

市議会の動き

9月24日に招集された第3回定例会の中から、代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した主な議案などについてお知らせします。

第3回定例会（可決した議案など）

〇令和7年度一般会計補正予算
区窓口の混雑緩和のためのマイナンバーカードセンター追加設置費など、総額5億9,500万円を補正するものです。
〇町の名称（豊平区水車町）を変更する件など、合計18件の議案などを可決しました。

代表質問の映像はこちらから▼



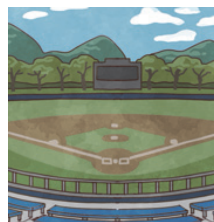
日本ハムファイターズ2軍
本拠地に適した土地の検討と
誘致に取り組む姿勢

むらまつ やすひろ
村松 叶啓 自由民主党



問 2軍本拠地の候補地について、市長は土地の確保は難しいとの趣旨の発言に終始していますが、市民が求めているのはできない理由ではなく、最も適した候補地を探る前向きな姿勢です。現在利用されている土地も含めて候補地を検討すべきだと考えますが、いかがですか。

市の答 球団の構想や球団と情報交換してきた内容を踏まえ、土地の広さや利用形態、将来的な拡張性、スケジュールなどに照らした適地の検討が必要と考えています。その上で、未利用地のほか既に活用されている土地も候補地となり得るか検討しています。



問 市長の誘致への消極的な姿勢は、球団が本市から移転したことを惜しむ市民感情と大きな温度差があります。今回の誘致は、経済効果だけでなく官民連携によるまちづくりの試金石となるものであり、本市が主体的に役割を果たせるかどうか将来に対する信頼と期待を左右します。それでも消極的な姿勢のままなのか、市民の期待に応え積極的に取り組むのか、市長の考えを伺います。

市の答 球団に魅力的な提案を行うためには、諸条件や整備スケジュールなどに照らして、活用可能な土地があるかどうか重要であり、適した土地があれば、具体的な提案を検討していきたいと考えています。